



### 申20号一ダイ改申し入れ(その3)で団交

# 矛盾だらけの準備時間

二月二十七日、三月ダイ改の具体的な改善要求について、千葉支社との団体交渉

## なぜ、千葉だけが!?

組合側からは、

① 他支社のほぼ同じ条件の箇所と比べても、千葉支社の準備時間のとり方が明らかにギリギリまできり縮められており、全く整合性がない。

② 千葉支社内部においても、車掌と運転士の準備時間のとり方・グループピングの仕方が矛盾しており、総体として、運転士の方が切り詰められている。

③ 点呼時間について、千葉支社は十五分とし

が行なわれた。交渉での議論は、とくに「準備時間」問題に集中した。

④ 泊り勤務の乗泊利用時も他支社では、千葉支社と比べて、前後の準備時間に余裕が設けられている。

⑤ 停止手配に要する時間も、千葉支社は他支社と比べて、切り詰めた時間のとり方となっている。

⑥ 等の問題点について、具体的に指摘しながら、明確な回答を求めた。

## 当局、全く回答できず

これに対し、千葉支社の回答は、「準備時間は実測に基づいて決めたものだから問題ない」と繰り返すのみであった。しかし、具体

的な問題を指摘され答えに窮すると「(他支社については)私たちが測った訳ではないから」「ここではお答えしかねる」などとただ

ひたすら沈黙を決め込みはじめ、最後はほとんどまともな回答することもできなくなってしまうた。

結局交渉は、次回再度回答を行なうということになって終了した。

## 頭にあるのは、運転士をいかにこき使うかだけ

千葉支社運輸課は、まさに、動力車乗務員の生理的な条件や、安全の確保、列車の運行は様々な条件によって、日々変化する生きものであるということなど、一切考えずに、ただひたすら、運転士をどうこき使うかしか考えていないのだ。

しかも、この日も何と四度目(!)の準備時間の間違いの修正が行なわれ、さうなおよましい状態を続けるというのか?

## 団交もせず承認した JR東労組千葉地本

また、JR東労組千葉地本は、動乗勤廃止・改悪に伴って、これだけの問題が山積しているにもかかわらず、運転士の労働条件確立問題について、団交すら行なっていないというのだ。昨年の「改悪反対」のかけ

声は、職場の怒りをそらすためのペテンでしかなかつたことは今や明らかだ。二・二一ストの成果の上に、九二・三ダイ改合理化粉碎、「JR体制」打倒に向け、さらに全力で闘いを強化しよう。